

被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類		番 号	28-17
原子炉建屋内	RB	Y 3	1 時間		
タービン建屋内	TB		2 距離		
R ZONE	R		3 遮へい		
Y ZONE	Y		4 線源の除去		
G ZONE	G		5 遠隔、ロボット化		
その他 ()	Z		6 汚染拡大防止		
			7 その他		

内 容	測量機械操作室の遮へい			
作業部位	4号機海側エリア			
概 略	鉛毛マット等での遮へい方法を工夫した。			
評 価 (定性・定量)	効 果		対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	--	--
		人工数(人日)	--	--

事例詳細

対策前 測量機械操作室は、地面及びタービン側からのγ線により70μSv/hであった。

対策内容 線源の方向別(タービン側、地面)に、鉛毛マット、碎石及び敷き鉄板を設置し遮へいした。



- ・タービン建屋からの放射線を「鉛毛マット」にて遮へいすることにより、環境線量率が70μSv/h→25μSv/h(約60%)に低減。
- ・地面からの放射線を「碎石」及び「敷き鉄板」により遮へい。